

# 業務災害(通勤災害を除く)

## 報告書記載上の要領

**1 欄「事故の有無」**は、令和 4 年度中に貴社で**業務災害**が発生したかを問うものです。

- ・無事故の加盟員は「無」を○で囲み、以下の**2 欄(太枠)のみ**記入して下さい。
- ・事故が発生した加盟員は「有」を○で囲み、令和 4 年度中に貴社で発生した業務災害の「**総件数**」と「**総被災者数**」を記載し、**各被災者について報告書を作成下さい。**

**2 欄「会社」**は、都道府県協会届出社名をご記入下さい。なお、「会員番号」とは、各都道府県協会における会員番号のことです。

- A) 警備業専業業者か、兼業業者かを○で囲み、兼業業者は警備業以外の主たる業務を記入して下さい。
- B) 「労働(労災)保険番号」を正しく記入して下さい。
- C) 「各種区分欄の業種番号」は、貴社が加入している「業種番号」を記入して下さい。その番号は、毎年労働基準局より送付される各社の「労働保険概算・確定保険料申告書」の中の「各種区分の業種欄」に記載されています。(例 警備業 9602 ビルメン業 9301)
- D) 「資本金」は、令和 5 年 3 月末現在で該当するものを○で囲んで下さい。
- E) 「警備員数」は、令和 5 年 3 月末現在で記入して下さい。臨時警備員も含まれます。
- F) 「主たる業務」は、該当するものを○で囲んで下さい(複数回答可)。

**3 欄「被災者」**の「年齢」、「職種」、「勤続年数」、「検定資格」は、必ず**事故時**のものをご記入下さい。

- 「職種」は、A)警備員、B)その他 のいずれかに○を付け、警備員の場合は、「常用」と「臨時」の区別を明確にして下さい。
- 「検定資格」は、事故時の業務に係る種別の検定資格の「有・無」を明確にし、「有」の場合は該当するものを○で囲んで下さい。

**4 欄「事故発生年月日」**の「午前・午後」は、いずれかを○で囲んで下さい。

- 「天候」は、該当するものを**ひとつ**○で囲んで下さい。なお、複数該当するものがある場合には、特にその天候が、直接事故の原因となったと思われるものに○を付けて下さい。

**5 欄「事故発生場所」**は、県名、市(郡)まで記入。「屋内」「屋外」の別を明確にし、該当するものを○で囲んで下さい。

**6 欄「事故の程度」**は、該当するものを**ひとつ**○で囲み、「休業日数等」(令和 5 年 3 月末日までの日数)を明確にご記入下さい。

- なお、B)と C)は、**身体障害等級**をご記入下さい。

**7 欄「主な傷病名等」**の A)「傷病名」は、主な傷病名をご記入下さい。

- B)「被災者の復帰」は「有・無」を明確にし、該当するものを○で囲んで下さい。

**8 欄「事故発生時の業務」**は、事故発生時に従事していた業務種別を**ひとつ**○で囲んで下さい。

- (参考 1号=施設・巡回・保安警備業務等 2号=交通誘導・雑踏警備業務等 3号=貴重品運搬警備業務等 4号=身辺警備業務等)

**9 欄「被災時の業務内容」**は、該当するものを**ひとつ**○で囲んで下さい。

**10 欄「被災時の乗り物」**は、被災時に被災者が使用していた乗り物等を**ひとつ**○で囲んで下さい。

**11 欄「事故の原因」**は、該当するものを**ひとつ**○で囲み、( )に具体的な物や、場所、理由等をご記入下さい。

- L) 「交通事故」に該当する場合には、a)~i)のうち該当する「**事故の相手**」を**ひとつ**○で囲んで下さい。
- M) 「プロパー事故」は、警備業務特有の事故で、万引犯等犯人、暴漢等第三者、動物等によるものを言います。
- M) 「プロパー事故」に該当する場合には、a)~e)のうち該当するものを**ひとつ**○で囲み、( )に具体的な物や、場所、理由等をご記入下さい。

**12 欄「その事故について」**は、当該事故の A)「交通事故」または B)「交通事故以外」の別に従い「**責任**」の所在をご記入下さい。

**13 欄「事故の概要」**は、①~⑤が明確になるように具体的にご記入下さい。特に、「死亡」「永久全労働不能」「永久一部労働不能」と、「交通誘導中」の事故は、現場の状況を図面にしてお説明下さい。

**14 欄「被災者数」**は、当該事故において複数の被災者が出た場合にご記入下さい。

**15 欄「保険負担機関」**は、当該事故の保険金、医療費、補償等を負担した機関を○で囲み、その負担割合をご記入下さい。